



社会福祉法人鶴風会

## 後援会ニュース

No.37 (平成9年)

社会福祉法人鶴風会

### 後援会

東京都武蔵村山市学園4-10-1  
☎0425-61-2521  
事務所・東京都中野区  
本町2-15-13 ☎03-3372-7650

新年度を迎え、鶴風会後援会会長・鶴風会理事長のご挨拶並びに、みどり愛育園通園児のご父母・東京小児療育病院に通院されていた方のご手記を掲載致しました。

中国の車椅子ギタリスト 方 放さんが来日され当病院を訪問下さいました。

鶴風会後援会の皆様へ

後援会会長 桑原 章吾

一九九七年を迎えて、後援会の皆様には新しい年にそれぞれ目標をもってお元気にお過しのことと存じます。情報伝達の長足の進歩のお蔭で、世界は数十年前に比べればはるかに狭くなってしまったように感じられます。それだけに私どもの周囲は何となく情報過多になり、精神的にも肉体的にも情報にふりまわされる状態になってしまいます。私たちにとって、得られた情報の適正な取捨選択が極めて大切な仕事になってきてるのでないでしょうか。

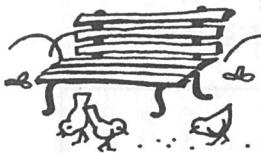
小児療育病院、みどり愛育園は施設、設備が更新され、鈴木院長

先生はじめスタッフも充実し、肢体不自由者の療育のための基本の体制がようやく固まってきたように感じます。しかし、この体制は現状の医療の中で満足できる水準に置かれたことを意味するもので、病院がこの状態に停止することは許されません。医療の進歩の速度は他の領域と同様極めて早く、常に新しい情報が出て来ます。病院はそれを整理し有用な情報を活用し、停滞することなく前進しなければなりません。病院も、それを後援する私たちも今再び新しい出発点に立った状態であることを皆様と共に強く意識したいと思います。

その反面、患者さん方の療育は毎日の適正な介護の努力と粘りの積み重ねであり、日常の細かい介

護の工夫によって将来の成果を求めることがあります。この基本には変わりはなく、私たちの仕事は日常の努力と愛情をもって自然の温かい応答を待つことである点を忘れてはなりません。幸いにも療育環境は格段に向かっているので、皆様方の御努力に対する反応は従前に比べて現れやすくなっています。

後援会の皆様方が今年も一年を通じてお元気に、病院の活動の一層の向上と患者さん方の介護に十分役立つていただけるよう御協力ををお願い致します。



中国の車椅子ギタリスト 方 放さんを迎えて  
クリスマス・コンサートが開かれました。



方 放さんをかこみ  
入園者との交歓会



## 鶴風会の矜持

理事長 倉島 摂子

平成九年の年頭にあたり、私共福祉事業を永年に涉り支え、御協力をいただいている後援会の皆様に深く感謝申し上げます。

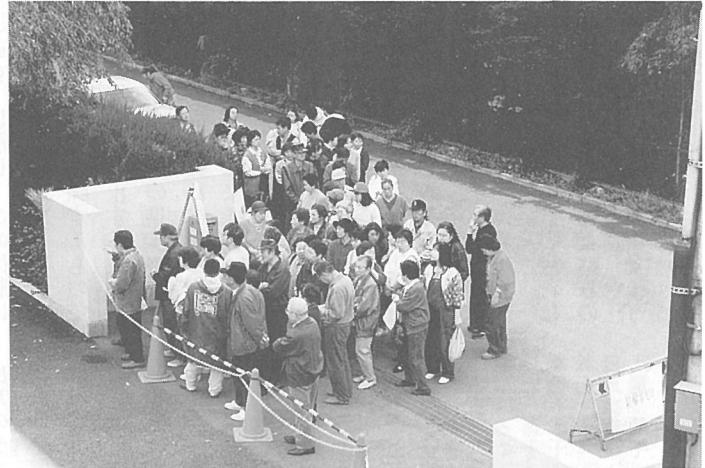
お蔭様で昨年春には外来病棟の全面改装も終え、念願の新病棟が完成しました。今新しい専門施設として、各方面の多大の期待を担い、夫々の分野の専門職員が療育の最良をめざして日夜頑張っております。医師、看護婦・士、理学療法士、作業療法士、育務係、医療社会事業係、事務職員等々希望に燃えて施設には斬新な気が漲り、たのもしい限りでございます。

創立当時より経てきた道程はまことにきびしく困難の連続でございました。けれど多くの方々の御支援が、今日のみのりをむすびました。設立当初から今日まで、鶴風会の矜持を保ち三十年以上すごしてこられましたのも理念を貫くゆるぎない姿勢が皆様のご理解を得たお蔭と思っております。

どうぞ向後とも御指導と御協力をお願い申し上げます。



大盛況です



バザー風景  
朝、早くから開場を待つお客様達

### ♡ チャリティ・バザールへのお願い ♡

日 時 平成9年11月

場 所 東京小児療育病院

昨年のチャリティ・バザーには、多くの方々や協賛会社の御支援によりまして、600万円余の純益をあげることができ、誠に有難く、厚く御礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ致します。食料品、調味料、酒類、石鹼、洗剤、陶、漆品、文房具、書籍、衣料品（新品又は新品に近いもの）など御寄贈をお願い申し上げます。

○御寄贈品は既に受付ております。

年々、バザーの品物が減ってきております。どうぞよろしくお願ひ致します。

○連絡先 病院 武藏村山市学園4-10-1 ☎ 0425(61)2521  
後援会 東京都中野区本町2-15-13 ☎ 03(3372)7650

### ♧第9回チャリティ・パーティ コロニスの会への御誘い♧

第8回コロニスの会は、昨年、帝国ホテルに600余名の皆様がお集まり下さり、盛会裡に400万円の純益をあげる事ができました。一重に、ご協賛下さいました企業、御参集の皆様の御厚情の賜物と一同感謝致しております。年末のお忙しい時期ではございますが、お誘い合わせ、御参加下さいます様、お願い申し上げます。（詳細は次号にてご案内致します。）

日 時 平成9年12月13日（土）  
場 所 帝国ホテル（孔雀の間）夕刻より  
予定人員 600名

連絡先 鶴風会後援会 コロニスの会  
東京都中野区本町2-15-13  
☎ 03(3372)7650

僕と小児療育病院

大畠  
義明

僕は、昭和四三年一〇月十二日に、昭島の地で体重二五〇〇kgで生まれました。生まれてまもなく黄疸と高熱のため、立川病院に二ヶ月入院しました。それから一年ぐらいしても僕の首が座らないので、変だと気がついたそうです。母の友達の紹介で世田谷の国立病院に行きました。ところがお医者さんから「これから東京女子医大に行つたら、脳性マヒと診断されまします。」とつてもがっかりしたそうです。それから、三ヶ月ほど、女子医大へ訓練に通いました。電車はこむわ、僕は泣くわ、母はとても大変だったそうです。それをみかねた女子医大の先生が、東京小児療育病院を紹介してくれました。東京小児に行つたら、「しばらく通つて訓練をした方がいい」と言われて、取りあえず訓練を受けることにしたそうです。一年ぐらいたった頃、院長先生に「今のように寝たきりで何もできず大きくなつて可愛そだから入院して訓練を受けなさい」と言われて母は、とても悩んだそうです。「泣いたり、笑つたりするのも訓練で

すよ。腹をきめなさい」といわれて昭和四八年一月一八日、四才の時、東京小児療育病院へ入院しました。最初の頃は、毎日泣いていました。それで食べる訓練をしたので、ほとんど食べられなくてガリガリにやせてしまった様です。訓練の時などは、毎日泣いていた様です。親子で泣き虫だといい最近まで病院の先生によく言われていました。そして、村山養護学校に入学しました。病院から学校へ三年間通いました。退院して、四年生から家から通学し、中学になって電動車椅子に乗る様になり、念願だった一人で通学することができ、買物、散歩と動き回れてとても嬉しかったです。今思うと懐かしい思い出です。あの時頑張ったから、今があるのだと思います。現在は市立のぞみ福祉園に通っています。今年僕は二八才になります。将来の事を考えて、あちらこちらと見学に行っています。親の体を考えて早く自立しなければと気持だけあせつていました。そのうち小児に新しく売店ができたことを知りました。僕は、ケースワーカーの人に売店で働きたいことを相談しました。今、週に一日売店で働ける様になりました。僕は、ケースワーカーの人に売店で働きたいことを相談しました。

佳奈恵よ、もっと自己主張を！

みどり愛育園通園父母 面田 真和

わが子（佳奈恵）がみどり愛育園の通園生活を始めて早や九年、

思えばあつという間に時が過ぎた

感かする。幸い佳奈恵は通園生活を楽しんでいるらしく、カゼ等で

体調を崩した時以外はめったに休

まない。通園の日は起床時より上機嫌で、喜んで通園バスに乗り入

機嫌で喜んで通園バスに乗ります。帰りのバス下車時には小生は

会社務めなので知るすべもないが

女房に聞くと、不機嫌な時もある  
うへが既して上機嫌のようであ

る。一重に諸先生方の園内での環

境作りの良さのお陰であると感謝

今、父親として通園生活を振り

返つて大きな出来事であつたと思

うのは、ある日園内で先生より「桂系魚」との意図がうるつた。

佳奈恵さんも意思があるので

志を尊重してくださいね。」と言

われたことであつた。この一言は小生の胸に突き刺さつた。今まで

佳奈恵は脳性マヒ児として喋れな

い、判断力もない、従つて家庭では何事も見えない。

は同事も親  
（主に女房）の半断た

わが子の意思を確認するなど思ひも及ばなかつたからであつた。考えてみると、わが子のため良いと思つてゐることも、わが子の意思に反して対処してきている場合が多かったのではなかろうか。つまり親の判断イコール、親の都合を優先してきたのはなかろうか。わが子も意思があり、必ず自己主張があるのでとの認識は改めて深く反省させられた。

それ以降は女房とも話し合い、佳奈恵の意思を確認するために対話を時間出来るだけ多く取ろうとすることにし、女房共々実行することにした。といっても女房の方が多いが、時には自ら対話することもある。その場合質問に対する回答形式もイエス／ノー方式から二者択一へ、更に多項目から選択回答方式を取るようにしてきた。残念ながら佳奈恵の能力からみ方程式は上手く行かないことが多いが、少しづつ進歩しているようを感じる。忍耐の勝負と言える。まだ多項目質問から選択回答ははっとけば無言で黙つて何時間でそれが当然だとも思つてわが子に接してきた。

でも必ず意思があり、したいことがあるのだとの確信の下に忍耐強く実行する以外はない。

唯一つ言えることは小生が、一生懸命心を向けて質問している時は、心が通じ本人が何を言いたいのか判つてくることがある。ついイライラして質問している時は判らない。その時はこちらが佳奈恵に心の底を見すかされているようである。

わが子の小さな成長に一喜一憂しつつも、ノーマライゼーション（健常者と障害者が共に生活する）、バリアーフリー等が盛んに叫ばれる今日、障害者の親として何らかの役割の一端を担うことを模索しなければならぬと痛感している。その為には、多くの人々との出会いの中で「感謝精神」を忘れずに障害児の現状を冷静に受け止め、まず自分が出来ることを実行することが大切だと思う。

最後に本の名前を忘れたが、印象に残った次の詩 高島巖先生作「ボランティアの心」の一部を引用して筆を起きたいと思う。

「持てる者が持てない者に、ではない。幸せな者が不幸な者に、でもない。持てる者も、持てない者も、幸せな者も、不幸な者も共に考え、共に学び、共に生活し合うことなのだ。」以下省略

鶴風会後援会「寄付者」芳名

平成八年八月～平成九年一月  
延四九一名（敬称略）

## ☆御寄附振込方法☆

後援会ニュースと合わせて郵便局の  
表込用紙のみを同封致しておりますが、  
銀行の方が御便利の方は下記へお願  
いします

- 三菱銀行中野支店（店番151）
  - 普通預金
  - 口座番号 4107235
  - 口座名

社会福祉法人 鶴風会後援会

みどり愛育園ご寄附者芳名  
平成八年八月（平成九年一月）  
五十六名（敬称略）

東京小兒療育病院

キッセイ薬品・倉島医院募金箱

若尾よしえ・和田 邦孝・中央興医

樂満和田  
礼子・渡辺古都江  
俊洋・渡刃志<sub>ズ</sub>子・渡刃  
和喜

四至本多鶴子・横山隆子・依田

吉依見田 幸子  
・・・  
米城沢 ちか  
・・・  
横米山 庄太

湯川 玲子・由布 水城・湯浅

安田口文雄・山口仁美・矢崎・安井てい子・安田

山田  
皐月・山下  
香澄・矢野とも  
二達・山口  
二美・夫婦

矢田由美子・山田孝子・山瀬達夫・山田一也  
山田今子・安土達夫・山田一也

山中 さだ・山本みどり・山崎 美  
天田 雅子・山川 兼二・山頬ア上

夕島正・山住美津子・屋代吉  
柳沢信子・山崎婦さ子・矢高レイ

森澤 天馬  
豊・山田三枝子・藪本  
・山住美津子・星代

諸岡 稲子  
芳野 鶴子  
森 稲子  
学隆 稲子  
森田 稲子

森田 和子・守屋 孝子・森川 三吉

向山秀樹・向山和代・村上義

溝部ゆり子・三木敏嗣・三木結通・村上リョウ・村上寅氏

三塚浩四郎・宮澤きみ子・三宅

冰告秀男・冰告陽子・三登和

山口正洋・山地美智子

子・吉川  
寢五

山口 征洋・山地美智子・吉川 謙五  
渡辺 高志・渡辺 隆行